

(別記様式第15号)

令和3年度みんなで支える森林づくり推進事業進捗状況報告書

事業 主体名	長野県上田地域振興局林務課 実務者(説明者)氏名：榎秋 隆哉
-----------	-----------------------------------

No.	事業項目	事業名
⑮	森林を支える豊かな地域づくり	みんなで支える森林づくり推進事業(森林税の普及啓発)
事業費 495 千円 (うち森林づくり県民税： 495 千円)		

事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

上田地域の森林面積は 65,358ha で、このうち民有林は 40,213ha で 61.5% を占め、民有林に占める人工林の割合は 54.4% で県全体の 48.7% を上回っている。

また、樹種別にはカラマツが 31.5%、アカマツが 22.3% で 2 樹種で全体の過半を占め、特にアカマツは県全体の 13.7% を大きく上回っている。

さらに、森林所有面積が 1ha 以下の林家数が全体の 72.3% を占め、県全体の 66.5% を上回っている。

こうした状況から、上田地域においては、小規模な人手の入った森林やアカマツ林の整備等を進めていくことが必要である。

(2) 本事業の目的

長野県森林づくり県民税の御負担をいただいている県民の皆様に対し、森林税の制度や活用した事業の普及啓発を行い、当該制度や事業の浸透定着を図り、上田地域における森林税活用事業の推進に寄与する。

事業内容

(1) 実施場所 上田地域全域

(2) 対象者 上田地域住民等

(3) 実施方法 週刊うえだへの広告掲載及びノベルティグッズの製作

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (H30 年度～R4 年度) 地域住民への普及啓発に係る効果的な手法により展開

②令和3年度進捗状況 B



事業効果

(1) 事業実施による効果

新聞広告を通じ、広く地域住民に情報発信を行うことができる。

(県政モニターアンケート(全県)による認知度の向上)

ノベルティグッズの配付等により、事業やイベントへの地域住民の参加を促進できる。

また、ノベルティグッズについては、地域の学生主体の活動と連携することで、より若い世代への森林税の浸透を図ることを狙っている。

(2) 継続性

第3期において継続して実施することがより効果的と思料する。

(3) 普及性

広告そのものの普及性は特に影響しないが、新聞広告やノベルティグッズの配付を通じ、森林税の認知度を向上させることで、事業や各種イベント等への参加を促進するとともに、森林所有者等が新たに事業に取り組むきっかけづくりとなることも期待している。

事業の検証及び評価

(1) 目標に対する成果の状況

(2) 課題

(3) 次年度以降の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直しの内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

事業の制度等に対する要望等

-
-
-
-